藤井さんへの質問に対するアンサー　Q&A

Q）まちづくりの原点は何でしょうか？
A)⇒難しい質問です。いろいろとやっていることを何て呼ぶか？と聞かれると「まちづくり」と呼ぶと伝わりやすかったです。

Q）人を呼び込むコツは？
A)⇒自分らが楽しむ！に尽きるかなと。

Q）高橋恵子さんとの接点はありますか？
A)⇒あります！いろいろと一緒にやらせていただいてます。

Q）最初に声かけられるまでに何かされていたことありますか？（顔が知られていないと何かを一緒にやる人として声かけられないのでは？）
A)⇒地元密着で 65 年やっている病院の職員であったことが信頼を得やすかったのだと思います。

Q）人をその気にさせる「押しの一手」は何ですか？
A)⇒どんなことも「できない」を言わないで「どうすればできるか」を考えています。

Q）本業で食うに困らない＝本業が忙しい、のでまちづくりに関われない、とならないのでしょうか？
A)⇒定例会議などは業務後の夜にやっていたり、土日が潰れたり、ということはあります。それでも、こういうことが好きな人が集まっているのだと思います。

Q）本業や家庭とまちづくりのバランスが難しいことが多いのでは
A)⇒それはいつも感じます。家庭を犠牲にしないとならない場合もあります。

Q）メンバー間のミーティングでの合意形成で心がけていることはありますか？
A)⇒誰かが特別な権限があるわけではないので、フラットな場で誰でも意見が言えるような組織となっています。

Q）古民家などは誰が運営しているのか？収支は？
A)⇒病院とは別の一般社団法人で運営しています。収支は初年度は赤字です。大きな黒字を目指しているわけではないですが、持続可能な財務状況を目ざしています。

Q）4000 万円の借金は誰が払う？
A)⇒一般社団法人で払っていくことになります。

Q）塾の運営者は誰ですか？保護者の負担は？
A)⇒一般社団法人です。月謝は 2000 円です。今までは県の補助金をいただけてました。

Q）最初から「色んな人」を入れるのではなく、小規模の「やりたい人」（方向性がある程度一致している人）で始めたのでうまくいっているのでしょうか？
A)⇒まだまだ小さい組織なので、どのような方針か、は明確に示せていると思います。方向性がズレている人はいないかもしれません。

Q）町役場はどの程度協力しているのか？
A)⇒多方面で協力してくれています。より強力に支援してもらえるようになるといいなと思っています。

Q）食うのに困らない本業があり、まちづくり活動にゆとりがある複数人のコーディネーターの存在が重要に感じましたが、そのような人材をどのように掘り起こすのが良いと思いますか？
A)⇒そういう人材を集めている！ことをいろいろなところで言いまくって情報を発信することから始めてはどうでしょうか。

Q）飲み会以外に話し合う場所はありますか？
A)⇒毎週定例ミーティングをやっています

Q）本業への有機的な効果の経験談等はありますか？（人材採用できた、地域の生業が存続できた、発案した、など）
A)⇒プロパンガスやサッシやさんは、事業自体で本業にリンクしています。病院も、人材採用や広報としては効果があります。

Q）アイデアを実現していく上での課題を教えてください。
A)⇒人、モノ、金、知識不足、など課題だらけです（汗）。一つ一つをみんなで解決していくしかないと思っています。

Q）どうやって話を詰めていくのか？行政とのかかわり方？
A)⇒定例会議で決めています。行政もところどころで接点を持っています。

Q）ボランティアベースで活動されていると言われていましたが、無理と感じていること、大変だ、支障がでることはないですか？
A)⇒よくあります。無理しすぎない、強制しないでやっています。できることを、できる限りやるスタンスです。

Q）子ども塾に医学部志望者以外も参加できますか？
A)⇒もちろん、医学部志望は病院が思っているだけです。

Q）小国町では宿も店もパン屋もすでにいろいろと自分で生業としている方がたくさんいるのですが今あるそれを有機的につなぐことで、甲佐町のような面となったまちづくりにつながるものなのか。それ以外に必要な決定的なものがあるのか気になります。
A)⇒既にあるリソースをつなげていくのは良いと思います。甲佐町もパレットで運営していないお店もありますが、いろいろな仕組みでつなげることをしています。とにかく動くことを重要視しています。